

佐保小学校と鼓阪小学校の統合再編に関する説明会 質疑応答要旨（令和7年4月27日）

◇質疑応答内容

	予算について	回答
1	予算を大きく削減されたとのことだが、どのような見直しをしたのか。	当初は新校舎の建設、校舎・体育館等の解体、外構整備等全ての工事を実施予定であったが、今回の工事では、予算の範囲内で可能な、一部校舎の解体、新校舎建設のみを実施する見直しを行った。その他、作り付け家具から既製品への変更、空調の管理システムの変更、化粧柱設置の取り止めなど、児童の学習環境に影響のない範囲で見直しを行っている。
	旧校舎解体・新校舎建設工事について	回答
2	全体の工程はいつ示してもらえるのか。	現在、受注者が全体工程を練り直しているところであり、正式なものができ次第、掲示板への掲示やさくら連絡網で連絡をする予定である。5月中を目途に出せるよう考えている。
3	騒音や振動が発生する際、あまりにも教育環境が阻害されるようであれば、子どもへの影響も心配であるため、リモート授業等の対応を検討してほしい。	騒音や振動への配慮は必要であると考えている。例えば、綿密に打ち合わせをして騒音の大きい工事の日程は遠慮のある日と合わせる工夫や、リモート授業も検討は可能である。工事と学校行事、学習進度に合わせて綿密な情報交換をし、騒音や振動が気になったという声があれば次の対策を講じるなど、丁寧に対応していきたい。
4	最終的には、体育館は解体するのか。	最終的には現在の体育館は解体し、新校舎北側の2、3階部分に体育館を設置する。
5	南棟の西側はいつ解体されるのか。また、中庭はいつまで使用できるのか。	南棟の西側は、北棟や体育館と同じく、令和9年7月から令和10年1月にかけての工事で解体する予定である。中庭の西側は、今回の工事の間は使用可能である。
	新校舎について	回答
6	ビオトープはどこに作るのか。また、専門家の意見を聞いて作るのか。	ビオトープは新校舎南側に設置予定であるが、今回の工事は旧校舎解体・新校舎建設のみであるため、令和11年1月～3月の工期で設置予定である。専門家の意見も聞きながら子ども達にとって良いものにしていきたい。
7	新校舎の2、3階部分はガラス張りであるが、何か目的あって設計されているのか。ガラスが万が一割れてしまった時に飛び散らないようなガラスを使用している等、安全面での配慮はあるか。また、ガラス張りになっていることで室温が上がりがりやすくなるなどのことはあるか。	今回のガラス張りの設計は、プロポーザル方式により複数の業者から選ばれた設計会社から提案されたものである。ガラスの安全面については、振動でもサッシ枠から脱落しないようクリアランスを設けているほか、飛散防止フィルムを施工する予定である。また、ロールスクリーンや空調の設置で、西日や室温上昇への対策を予定している。
8	万が一ガラスや吹抜けの天井板が地震等で外れた場合に備え、ネットを張るなど、そのまま落下してしまわないような対策はしてあるか。	ガラス等については地震に際して割れない、枠から外れない設計となっており、安全を確保しているため、ネット等は検討していないが、新校舎については、安全に生活していただけるものと考えている。
	学校生活について	回答
9	民間プールを活用した水泳授業について、往復時間が長いこと以外への不満は何かあったのか。	一部の保護者からは、プールから学校へ帰ると疲れているのではないかと、帰ってすぐ給食の準備があるなど慌ただしいのではないかとという声を聞いている。奈良市内で活用できる民間のプールは限られているが、できるだけ近くで探して対応していきたい。
10	グラウンドの使用範囲が制限されて子どもの運動時間が減っていることに対して、今後何か改善のために考えていることはあるか。	現在は、運動場を使用する時間を学年ごとに割り振って遊ぶようにしている。運動場を使用できない学年が教室でも休み時間を過ごせるように、教室での遊びも検討している。体育館での活動についても、昼休みに大縄大会やドッジボール大会を子ども主体で企画し、実施することも考えている。
	通学路、道路について	回答
11	校舎の西側と南側の道路は非常に幅が狭い。通う児童が増えることも考えると、安全面からも道路を広げてほしい。	今回の工事工程には道路の拡張は含まないが、道路事業として継続して要望をいただいていることを認識した。今後検討していきたい。
12	校舎北側の出入り口から工事車両が出入りするということであれば、その安全対策が必要である。	新校舎建設後の校舎解体等の際には、工事車両の出入りも考えられるため、警察とも協議していきたい。
13	子どもたちが歩くのは通学路だけではない。校区全体の生活道路について市民と意見交換し、危険箇所を見直してほしい。	県道や国道、私道は市で抜本的な対策をすることが難しいところもあるが、道路の安全対策についてこれまで以上に丁寧に対応していきたい。
	説明会・統合再編について	回答
14	このような内容の説明会は、鼓阪地域でもやってもらえるのか。	日程調整を行っている段階であるが、鼓阪地域でも今後開催を目指していきたい。決まり次第、案内をさせていただきます。
15	附帯決議の中で、「鼓阪小学校で双方向に渡って地元住民、保護者等の意見交換を何度でも実施する」と書いてあるが、やってもらえるのか。	統合再編を通して新しい環境に向けていくために一番大切なのは、多感な年代の子どもたちの気持ちに対するきめ細やかなケアである。教育の観点でしっかりサポートさせていただくことが重要である。一方、統合再編が進んだ後も地域との関係はずっと続いていくため、今後も様々な場面を通して子ども、保護者、地域住民とコミュニケーションを図っていきたい。
16	今後のことは若草中学校区新小学校開校準備委員会が進めるという話であったが、準備委員会は市や市教委の意向に沿った委員会である。鼓阪小児童や保護者、地元から、統合再編に反対する請願も出ているため、子どもや保護者、地元住民の声を聞く機会を設け、佐保小学校の工事が決まった今、佐保小学校と鼓阪小学校の統合再編は一度止めて考えるべきだと思うが、もう一度メンバーを変えることは考えていないのか。	新小学校開校準備委員会は、両地域の諸団体の代表者13名ずつで構成している。代表者が変われば準備委員会のメンバーも変わるが、令和9年4月の開校に向け、地域や学校、保護者、子どもの意見を聞きながら前向きに検討していただきたい。委員の方々には地域、保護者、子どもの思いを聞いていただきながら、私たちも一緒になって今後も進めていきたいと考えている。